

『マンガでなるほど! 親子で学ぶ プログラミング教育』

石戸奈々子(NPO法人CANVAS理事長)監修
予約&早期購入キャンペーン実施のお知らせ

2020年2月6日、株式会社インプレスより石戸奈々子(CANVAS理事長)が監修を務める書籍『マンガでなるほど! 親子で学ぶ プログラミング教育』を発売いたします。それに先駆け、予約開始から2020年3月31日(火)までの期間にオンライン書店にて予約および注文いただいた方を対象に、キーボードを使った文字入力スキルを身につける「タイピング練習帳」のプレゼントキャンペーンを実施します。

概要

全国の小学校で来春からスタートする「プログラミング教育」をマンガで解説。



9年ぶりの学習指導要領の改訂により、2020年4月から全国の小学校で「プログラミング教育」が一斉にスタートします。

本書は、インスタグラムで人気の育児マンガ家 マルスai家を舞台に、「プログラミング教育ってなんだろう?」の疑問に、プログラミング教育の最前線で活躍する「ナナコ先生」がやさしく解説していきます。義務教育で必修化された目的やプログラミング的思考力の真意、プログラミングワークショップルポなど、小学校で実際の授業がスタートする前にマンガで疑似体験できる、IT知識ゼロでもわかるおもしろストーリーです。プログラミングで広がる子どもたちの未来に、お母さんお父さんもワクワクする一冊です。

【書籍データ】

書名: マンガでなるほど! 親子で学ぶ プログラミング教育

著者: マルスai 漫画・石戸奈々子 監修

発売日: 2020年2月6日(木)

ページ数: 128ページ(巻頭カラー) サイズ: A5判

定価: 本体 1,360円+税

電子版価格: 1,360円+税 (※) (2月中旬発売予定)

【書誌情報ページ】

・Amazon <https://www.amazon.co.jp/dp/4295008214/>

・インプレス <https://book.impress.co.jp/books/1119101015>

タッチタイピングも夢じゃない！「タイピング練習帳」PDFをプレゼント

本書の発売に先駆けて初回限定キャンペーンを実施いたします。2020年3月31日(火)までにオンライン書店で本書を予約購入し、同日までにキャンペーンにお申し込みいただいた方にもれなく特典をプレゼント。特典は、お子さんの文字入力スキルに役立つキーボードシート、ローマ字表、ショートカット集の3点がセットになった「タイピング練習帳」PDF版です。本キャンペーンは以下の特設ページからお申し込みいただけます。

< キャンペーン特設ページ >

https://book.impress.co.jp/readers_entry/9784295008217yoyaku.html

キャンペーン対象期間：2020年3月31日(火)お申し込み分まで



【著者】

マルサイ(漫画)

マンガ家。夫と男子3人の5人暮らし。日々の子育てや食卓の様子を紹介したInstagramが大好評。著書に『男子が3人います。』『がんばらなくてもデキてる風 めんどくさがり母さんの最強ずるメシ』(大和書房刊)などがある。

石戸奈々子(監修)

NPO法人CANVAS理事長/一般社団法人超教育協会理事長

株式会社デジタルえほん代表取締役

慶應義塾大学教授、博士(政策・メディア)

東京大学工学部卒業後、マサチューセッツ工科大学メディアラボ客員研究員を経て、NPO法人CANVAS、株式会社デジタルえほん、一般社団法人超教育協会等を設立、代表に就任。慶應義塾大学教授。総務省情報通信審議会委員など省庁の委員多数。NHK中央放送番組審議会委員、デジタルサイネージコンソーシアム理事等を兼任。政策・メディア博士。

著書に「プログラミング教育ってなに? 親が知りたい45のギモン」(ジャムハウス)「子どもの創造カスイッチ!」(フィルムアート社)他、監修に「どんだんめくってはっけん コンピュータのひみつ」「さわって学べるプログラミング図鑑」(学研プラス)など。

これまでに開催したワークショップは 3000回、約50万人の子どもたちが参加。

実行委員長をつとめる子ども創作活動の博覧会「ワークショップコレクション」は、2日間で10万人を動員する。

デジタルえほん作家&一児の母としても奮闘中。

<http://creativekids.jp/>

本件に関する一般及び報道機関からのお問い合わせ先

特定非営利活動法人CANVAS

CANVASはこどものための創造・表現の場を提供し、豊かな発想を養う土壌を育てることを目標として設立されたNPOです。これまで50万人のこどもたちにワークショップに参加いただきました。こどもたちに新しい表現を生み出してほしい、新しい世の中を築いてほしい。そんな願いを叶えるため、産官学さまざまなプレイヤーのみなさまと連携しながら「未来をつくる」プロジェクトを生み出しています。

CANVASホームページ <http://www.canvas.ws>

問い合わせメールアドレス information@canvas.ws

